

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・1月号・付録
2011年1月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03)5379-5521/FAX (03)5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

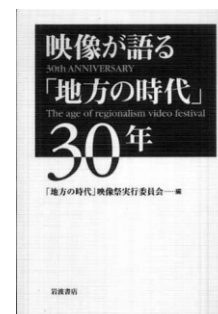
2010年11月30日、理事会を開催した。
委員会報告
◇出版編集委員会 滝野委員
・1月号編集終了。2月号の特集は「みんなの放送批評!」。通巻500号記念として、様々な形で放送批評を検証する。表紙は稲垣吾郎さん。パーソンは秋元康さん。3月号特集は、「テレビはプロ野球を捨てるのか?」。テレビのプロ野球中継について考察する。表紙は檀れいさん。
◇選奨事業委員会 小田桐委員長
・11月15日に、宿題となっていた名称問題などの「今後の選奨活動」に関する会合を行った。テレビ、ラジオ、CM、報道活動の各部門4委員長と討議された内容は次の

3点。
1. 名称・呼称について
①大賞、優秀賞、選奨までを入賞作とし、奨励賞は入選作と位置づけ、明確に分ける。
②入選作の呼称については、もう少し時間をかけて検討する。
2. 4部門のあり方について
①当面、現行の4部門構成でいくことにする。
②ネットコンテンツについては、各部門でその動向を見守りつつ議論・検討していく。
③報道活動に関してはその活性化のため、各局のレギュラーニュースのキャンペーン報道などに注目し、委員会推薦とし応募作と同一線上で選考することも考える。

④ラジオ部門では、ワイドI(平日の帯番組)、ワイドII(土・日)と分けているが、ワイドIIの応募本数が少ないため、ワイド部門については微修正を視野に議論していく。
⑤ラジオCMの扱いは難しい。普段着のCMを選考対象にしていきたい。
3. 評価基準と選考経過の周知について
①各委員会で評価基準を議論してとりまとめる。4部門が出揃うまでは、各委員会の内規として位置づけ、揃ったところで公開する。
②選考の周知はその経過も含め、これまで通り『GALAC』誌上で発表する。
③各部門での「制作者と語る会」などを通じて、視聴者・リスナーを含めた回路の充実を図っていく。
へテレビ部門へ 上滝委員長
・テレビ部門の選考会は、10月30日に終了。上期選考会の結果はこれといった抜きんでた作品はなかった(作品詳細は『GALAC』2



「地方の時代」映像祭の30年の軌跡を総括し、「地方」というキーワードから、この国の現在を見つめ直す一冊です。



「地方の時代」映像祭実行委員会編
岩波書店 2000円十税

『映像が語る
「地方の時代」30年』

BOOK紹介

☆ギャラクシー賞マイベストTV賞☆

2010年11月度の投票も始まりました!

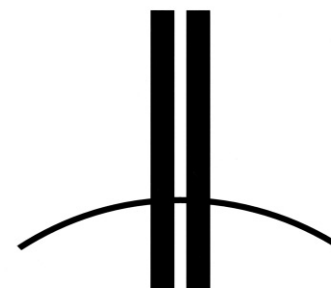
ギャラクシー賞マイベストTV賞2010年11月度作品の投票を開始します。正会員の皆さまは、添付した〈正会員専用 投票用紙〉でマイベストTV賞の投票にご参加ください。

リスト以外の作品を記入できる欄もあります。ご活用ください。

ウェブまたは携帯サイトから参加の場合は、正会員専用のユーザー名ID、パスワードを使って投票ページに入ってください。

正会員の皆さまのご参加をお待ちしています!

マイベストTV賞
携帯サイト、
オープン中!
投票はこちらからもできます
<http://www.houkon.jp/m>



投稿をお待ちしています!

会報「ほうこん」は正会員の皆さまの広場です。会の活動についてのご意見のほか、正会員の皆さまの主催するイベントの案内や報告などについて投稿をお待ちしております。事務局までお寄せください。投稿の字数は400字程度でお願いいたします。

Eメール (kondankai@houkon.jp)、ファクス (03-5379-5510) でお送りください。お待ちしております。

50周年に向けて 会のデジタル化へ尽力！

高橋秀樹

初めまして！ このたび事務局で働かせていただくことになりました高橋秀樹と申します。覚えやすい名前です。俳優の「桃太郎侍」とは一字違い、放送作家の方で同姓同名がいらっしゃったような……。

前職は大手家電量販店でのデジタルカメラ販売という、まったく畑違いの職場からの転職です。はじめのうち、頂いたお電話でお名前を聞きなすなど失礼、ご迷惑があるかもしれませんがお許しください。

放送批評懇談会との出会いは意外に早く高校生のころ、池袋西武の書店、リプロで手に取った『GALAC』ならぬ今より版の小さな『放送批評』でした。

阪神大震災やオウム事件があり、

その画一的で一方的なテレビ報道に疑問を感じ、購読を始めたのでした。ケーブルテレビや光ファイバー網の発達で、放送と通信の融合が言われ、ルパード・マードックがスターTVを買収してアジア広域での衛星放送が目玉された頃でもあり、大好きなテレビはどうなるのだろうと思っていました。今思えば、ませた高校生でしたが、まさかその雑誌の編集に関われることになるとは思っていませんでした。

その後、大学に進学し、所属の学部ではなかったのですが、無理を言つて音好宏教授のゼミに参加、いつの間にか忙しい先生のお手伝いをするように、メディアに関するアルバイトもするようになりました。

011年1月号参照）。
・「ギャラクシー賞受賞作品を見て語り合う会」の2回目は年度明けに開催を予定。

〈ラジオ部門〉 桜井委員長

・11月15日に定例会を開催した。今回は熊本放送と長崎放送の生ワイドを聴いた。

・評価基準は、現在進行形で作成中。

〈CM部門〉 五井委員長

・評価基準は現在作成中。

〈報道活動部門〉 確井委員長

・11月13日に「テレビ報道活動・ギャラクシー受賞作を見て、制作者と語る会」を日大芸術学部で開催。主な出席者は学生だったが、120名の参加で盛況だった。来年度以降については再考したい。また前回、会からの補助を希望したが、委員からのカンパで賄うことができてほんの少しだが黒字になったので、今回補助は必要なくなった。

* * *

各部門の報告後、評価基準について、及び、BS、CS、CATVなどの選奨に関し議論した。多数の理事から意見が表明された。これらの意見も含め、小田桐選奨委員長に明

文化したものをまとめて提出してもらい、改めて理事会で検討を重ねた上、決定したいとの専務理事からの提案があり、了承された。

◇マイベストTVプロジェクト 滝野プロジェクトリーダー

・新しいサーバーへの移行を計画中。

◇企画事業委員会 中島事務局長

・来年3月開催で準備中。

◇記念事業プロジェクト

〈50周年記念出版の件〉 中島事務局長

・50周年記念書籍の選定委員、編集委員による会議を11月8日に開催。

過去の『放送批評』『GALAC』から100本の論文を選び出すにあたり、選考基準、選定の手順、選定の対象について討議、決定した。選定作業は3月31日までにを行うものとした。また、書籍の構成内容についてアイデア、意見を交換した。

〈トロフィーの件〉 橋本専務理事

・11月11日に、トロフィー刷新をテーマに記念事業プロジェクトの委員会を開催した。トロフィーのリニューアルにあたり、放懇シンボルマークをデザインしたグラフィックデザイナーの松永真さんに、田代勝彦元

専務理事を通じて打診することになった。

〈データベースの件〉

・データベース事業は、記念事業プロジェクトメンバーの川喜田尚理事を担当に進めることが報告された。

◇その他

①入会の紹介 BS-TBS

◇次回以降の理事会日程

12月 12月21日（火）

1月 1月25日（火）

【出席】 音好宏、橋本隆、上滝徹也、小田桐誠、桜井聖子、五井千鶴子、確井広義、滝野俊一、石井彰、市村元、入江たのし、兼高聖雄、川喜田尚、隈部紀生、嶋田親一、稗田政憲、中島好登

会議記録

〔11月〕

8日	記念事業プロジェクト
11日	記念事業プロジェクト
15日	（選奨）ラジオ定例会
18日	出版編集委員会
26日	（選奨）テレビ月評会
30日	理事会